

眼科

目

お悩み

ありませんか？

高齢者に多い目の病気としてあげられるのが、

「白内障」。

「見えづらさ」を感じる頃には病気がかなり進行しているのが特徴です。

このような症状はありませんか？

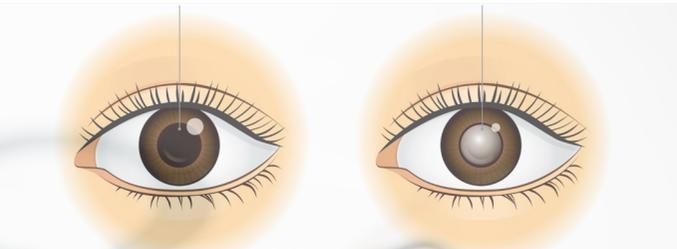
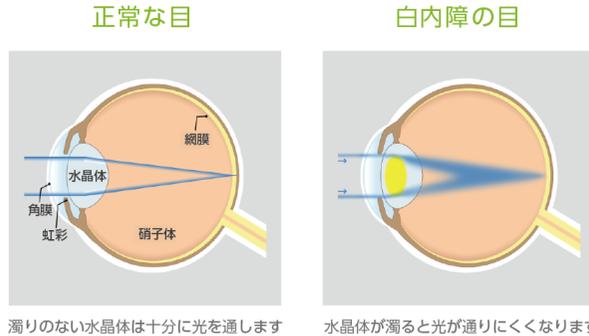
白内障は水晶体が「濁る」ことによって視力が低下する病気です。

おもな原因は加齢によるものがほとんどで、ほかにも糖尿病、アトピーなども原因となります。白内障は手術をすれば視力が回復する病気でもあります。

「ものが二重に見える」、「光を以前よりまぶしく感じる」、「ぼやけて見える」、「白っぽくかすんで見える」

などの症状が現れます。

白内障の原因



白内障の発症原因は、加齢によるものが殆どです。 **60歳以上の方の8割に発症** するといわれています。

発症頻度は、40歳代から進行しはじめ、50歳代では40～50%、60歳代では70～80%、70歳代で80～90%、80歳以上はほぼ100%の人に白内障の進行がみられるようです。

しかし、一概に加齢だけとは言えず、糖尿病やアトピー性皮膚炎、怪我なども白内障の発症原因に繋がります。このような、合併症や外的要因による白内障は、若年層にも発症する可能性があります。

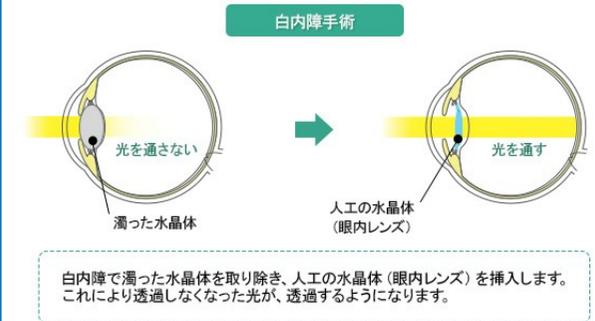
白内障の治療方法

現在、白内障になってしまった場合の治療方法は、薬か手術のみですが、日常生活に支障が出てきている場合は手術を行う必要があります。薬は予防と進行抑制を行うものであり、進行した白内障は手術をする以外の方法はありません。

当科の手術は入院にて行っています。八幡病院におかかりの方は主治医と連携しながら、手術を行いますので、安心して治療をお受けいただけます。受診のご相談は、主治医またはFブロックへお願いします。

白内障の手術について

白内障手術とは、濁った水晶体を取り除き、そのままではレンズがなくなってしまうため、その代りに人工の水晶体（眼内レンズ）を挿入することです。これによって、視力を取り戻し、モノが見えるようになります。



白内障手術は国内で年間140万症例もの手術件数を誇る、外科的手術の中でも最も多い部類に入ります。麻酔は多くの場合、眼のみの局所麻酔で、手術時間も早ければ15～20分程度で終わってしまいます。一見簡単で手軽に見えるこの手術も、熟練した眼科医が高度な手術機器を用いて、顕微鏡下で行う大変繊細な手術です。